

# 植生学会 第 12 回大会

## 講演要旨集



2007年10月6日(土)～8日(月・祝日)

岡山理科大学

植生学会

# 大会の日程

植生学会 第12回大会 岡山大会

会期 2007年10月6日(土)～8日(月・祝日)

2007年10月6日(土)

企画委員会 (13:00～14:00)  
 表彰委員会 (13:00～14:00)  
 編集委員会 (14:00～15:30)  
 運営委員会 (15:30～18:00)

10月7日(日)

一般講演 口頭発表 (9:00～12:00, 15:00～16:40)  
 一般講演 ポスター発表 (13:00～15:00)  
 エクスカーション説明会 (14:40～15:00)  
 総会・学会賞授与式 (16:50～17:50)  
 懇親会 (18:00～20:00)

10月8日(月・祝日)

エクスカーション (7:30～18:00) 毛無山

## 日程表

		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
10月6日	21号館1階 会議室 21号館1階 22115教室						企画委員会 表彰委員会	編集委員会	運営委員会			
10月7日	A会場 B会場 ポスター会場	S1～S3 A1～A5	昼食休憩			エクスカーション説明会		A6～A10 B6～B10	総会・学会賞授与式(A会場)	懇親会 11号館8階		
		(ポスター会場オープン)				ポスター発表 コアタイム						
10月8日	岡山県 新庄村 毛無山	エクスカーション 岡山駅前林原モータープール前 に午前7時30分集合。8時出発					18時に岡山駅で解散 (帰りのバスは岡山空港に接続予定)					

## 会場のご案内

岡山理科大学において、一般講演、総会、各種委員会、懇親会のすべてを行います。

### 1 講演会場・受付

岡山理科大学バス停からエスカレータを2段登り、登りきった真正面のロータリーをこえた先に赤い鉄骨の大きな渡り廊下があります。渡り廊下を渡った先がメインの会場となる25号館(40周年記念会館)の7階です。講演会場などは、25号館の3階、4階、5階です。階段を下りて4階ににおいでください。受付があります。

### 2 各種委員会

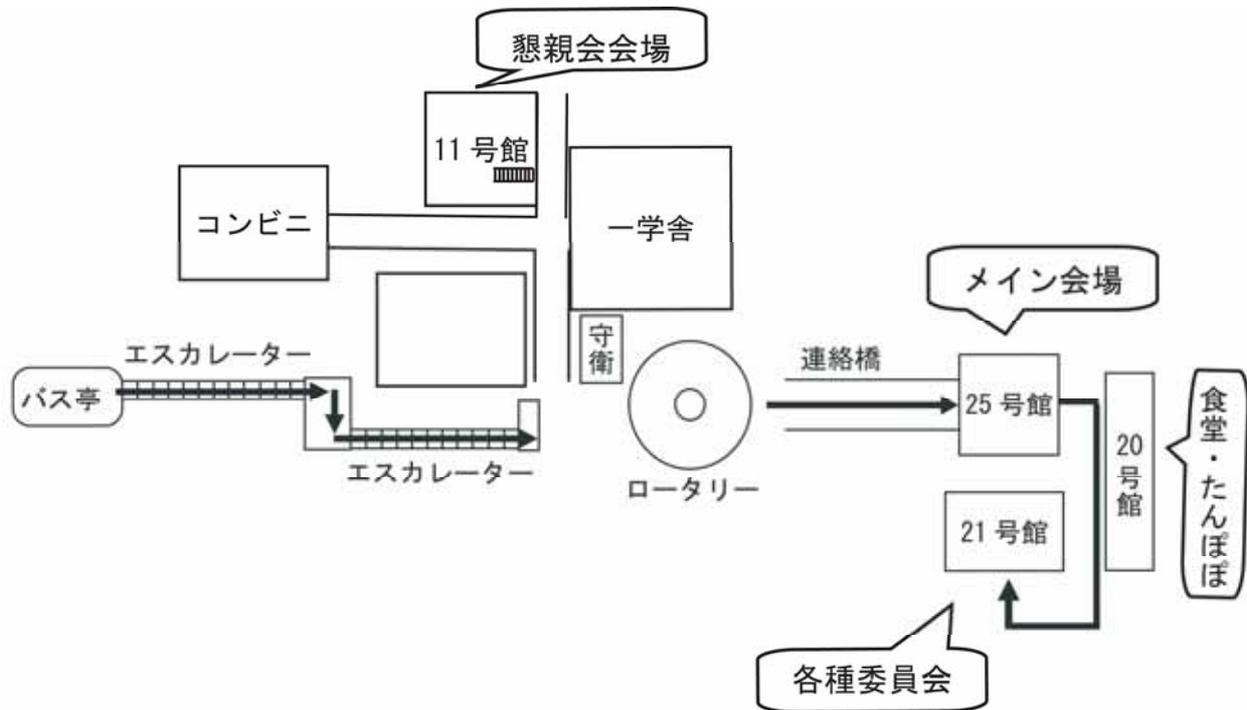
6日の各種委員会は、メイン会場の25号館ではなく21号館1階(会議室と22115室)で行いますので、お間違いないようお願いいたします。

21号館は、25号館のすぐ隣の建物です。25号館エレベーターで1階へお降り下さい。1階の出口を右折し、右側の7階建ての白い建物が21号館です。

### 3 懇親会

懇親会は11号館8階のラウンジで行います。メイン会場である25号館から渡り廊下を渡り、ロータリーを右に曲がり、左側の斜面の上の方に見える8階建ての建物が11号館です。階段で建物まで登り、エレベーターか階段で8階のラウンジまでお越しください。





## キャンパス内のご案内

### 1 コンビニ

メイン会場の 25 号館の 1 階にコンビニがあります。

もう一軒、25 号館から渡り廊下を渡ってロータリーに出て右に進み、すぐに左に曲がったところにもコンビニがあります。散歩がてらにどうぞ。

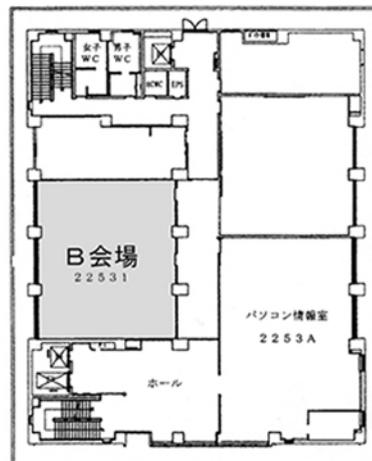


5 階

4 階

### 2 食堂

10月7日は、学生食堂たんぼぼのみが営業しています。メイン会場の 25 号館を 1 階まで下り建物の外に出て右に進んでください。左側に見えるのが食堂です。



3 階

## 一般講演などに関するご案内

### 1 口頭発表について

- (1) 講演時間は、発表 15 分、質疑応答 4 分 30 秒です（交代の時間は 30 秒）。
- (2) 次の講演者は、会場の前方に座席を用意しておりますのでそちらで待機してください。講演者の円滑な交代にご協力ください。
- (3) 講演者の方は次の発表の座長をお願いいたします。一番最初の座長は、実行委員が行います。
- (4) 講演には、パソコンに接続したプロジェクタが使用できます。パソコンには、OS として Microsoft Windows XP Professional、Microsoft Office Professional Edition 2003 がインストールされています。パソコンで使用できるのは、マイクロソフト社のパワーポイントによるスライドショー。または PDF ファイルです。使用可能な発表方法の情報が混乱してしまい、申し訳ありませんでした。
- (5) パソコンは、実行委員会が用意したものを使用してください。発表中のパソコンの操作は、発表者本人か共同研究者が行ってください。

発表に使うパワーポイントのファイルは、諸般の都合を考慮して、事前に集めません。発表の当日に発表用パソコンへコピーしてください。

午前のセッションの方は、特別セッション（S1～S3）の間にデータをコピーしていただけるようお願いいたします。午後のセッションの方は、ポスターセッション（13時～15時）の間にデータをコピーしていただけるようお願いいたします。

発表のドキュメントの受け渡しは、担当の者がノートパソコンの側で待機しているので、データをお渡しください。データは、できればUSBフラッシュメモリでご持参ください。特に、講演の順番が早い方は、お早めにデータをコピーしていただけるようお願いいたします。

発表前日の6日の午後にも発表会場でデータの提出を受け付けています。

### 2 ポスター発表について

- (1) ポスター発表用に縦 180cm × 横 90cm のボードを設置します。ポスターはこの枠内に貼ることのできる大きさで作成してください。
- (2) ポスターは発表当日の9:00から12:00の間にボードに貼ってください。
- (3) ポスターの貼り付け方法はメンディングテープを使用します（画びょう不可）。テープは実行委員会が用意いたします。
- (4) ポスター発表のコアタイムは13:00～15:00の間です。この時間帯はポスターの前に立ち、ご発表ください。
- (5) ポスターは当日（7日）の16:50までに回収してください。貼り残されたポスターは、実行委員会で回収させていただきます。

### 3 懇親会について

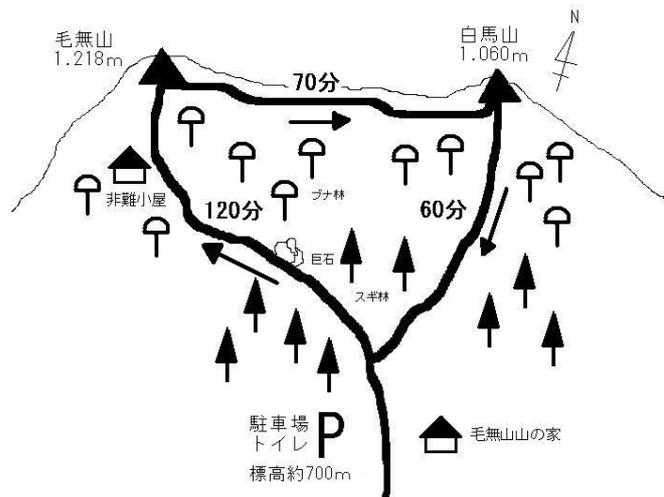
- (1) 懇親会は、岡山理科大学キャンパス内の11号館8階のラウンジで行います。
- (2) 参加予定数に余裕がある場合は当日も受け付けますが、学生の割引はありません。
- (3) 懇親会の会場に入場する際は、必ず名札をご持参ください。
- (4) 懇親会終了後は、臨時の路線バスを用意してあります。最終のバスは、21:00に理科大学発です。乗り遅れの無いようにお気をつけください。

## エクスカーションについて

エクスカーションの説明会を、  
10月7日の14:40~15:00にA会場  
で行います。参加される方は、ぜひおいでください。

### 1 用意など

- (1) 軽登山の用意をお願いいたします。  
整備された登山道を進みます。標高差は約600m、道のりは約2.5kmです。脊梁山地なので、念のため雨具や防寒具をご持参ください。
- (2) 山中にトイレはありません。駐車場にトイレがあるので登山前に済ませておいて下さい。
- (3) 移動は貸し切りバスでの移動を原則とします。ご自身の車で参加される場合も、参加費は変わりません。
- (4) 昼食はご自分であらかじめご用意ください。
- (5) 岡山駅前の林原モータープールに午前7時30分に集合し、8時に出発します。10時30分頃から観察開始を予定しています。毛無山の植物・植生を観察しながら頂上まで登り、昼食をとって下山する予定です。山中は4時間ほどの行程を予定しております。帰りは15時に毛無山を出発し、岡山駅には18時頃の帰着を予定しています。



登山道とコースタイム(無毛山と白馬山縦走コース)  
注:非難小屋および山中にトイレなし

### 2 行動予定

- 7:30 岡山駅前林原モータープールに集合。
- 8:00 林原モータープールを出発。
- 10:30 毛無山登山口の駐車場に到着。観察開始。
- 12:30 山頂に到着(予定)。昼食。
- 13:00 下山開始(13時までに出発できれば、白馬岳経由ルートで下山。それ以降は毛無山ルートで下山)。
- 14:30 毛無山登山口の駐車場に帰着。
- 15:00 登山口を出発。すぐ近くの新庄村の道の駅で小休憩。
- 17:30 希望があれば、岡山空港に接続予定。
- 18:00 岡山駅に到着、解散。



岡山駅と林原モータープール

交通事情により、スケジュール通りに行動できないことがあるかもしれませんが、ご了承ください。帰りに岡山空港へ接続するかどうかは、当日に要望があるかどうか確認いたします。

## 路線バス(岡電バス) 大会開催時の時刻表

岡山駅西口 - 岡山理科大

岡電バス 岡山駅西口 - 岡山理科大 大会開催時の時刻表

2007年 10月 6日 (土)

岡山駅 西口発	理科大 学着	理科大 学発	岡山駅 西口着
11:10	11:30	13:09	13:27
11:45	12:05	13:37	13:55
12:05	12:25	14:05	14:25
12:25	12:45	14:40	15:00
12:49	13:09	15:15	15:35
13:17	13:37	15:48	16:08
13:45	14:05	16:30	16:50
14:20	14:40	17:08	17:28
14:55	15:15	17:50	18:10
15:28	15:48	18:32	18:52
16:10	16:30	19:16	19:36
16:48	17:08	20:00	20:18

2007年 10月 7日 (日)

岡山駅 西口発	理科大 学着	理科大 学発	岡山駅 西口着
7:25	7:45	11:30	11:48
* 7:40	8:00	12:05	12:23
* 7:50	8:10	12:25	12:43
8:05	8:25	12:45	13:03
8:35	8:55	13:09	13:27
9:02	9:22	13:37	13:55
9:30	9:50	14:05	14:25
10:00	10:20	14:40	15:00
10:35	10:55	15:15	15:35
11:10	11:30	15:48	16:08
11:45	12:05	16:30	16:50
12:05	12:25	17:08	17:28
12:25	12:45	17:50	18:10
12:49	13:09	18:32	18:52
13:17	13:37	19:16	19:36
13:45	14:05	20:00	20:18
14:20	14:40	** 20:30	20:50
14:55	15:15	** 20:45	21:05
15:28	15:48	** 21:00	21:20
16:10	16:30		

片道運賃... ¥ 190 (増発も同じ)

\* : 増発

\*\* : 増発・岡山駅直通

【特別セッションのご案内】

日時：10月7日（日） 9：00～10：20

場所：25号館（40周年記念会館）4階 A会場

## 岡山県における湿原の保護と保全の取り組み

### 趣旨

1990年、バブル絶頂期のゴルフ場建設の中で湿原を移設することを決断した。設計変更によってかなりの湿原を残す事ができたものの、このままでは約半分の湿地が失われる事になってしまうからであった。湿原の移設には決断が必要であったが、温暖な地域における湿原の成り立ちに関する多くの知見を得る事ができた。それ以降、湿原の保護・保全に関し、大胆とも思える対策を実施する事が可能となった。

今回のテーマセッションでは、湿原を移設して10年以上経過した事例に関する報告、そして多くの事例に立脚した国指定天然記念物「鯉ヶ窪湿原」における管理の姿勢、さらに新しい問題である、湿原への外来種導入の現状と対策について報告していただく事にした。これらの湿原ハンドリングの実際は、温暖な地域における湿原植生の本質の一端を示している。

趣旨説明：5分 各セッション：20分 総合討論：15分

### 趣旨説明（9：00～9：05）

#### S1 岡山県の湿地に移入された外来食虫植物の現状（9：05～9：25）

片岡博行（津黒いきものふれあいの里）

#### S2 植生構造を破壊して移植した湿原の移植後の植生変遷（9：25～9：45）

西本孝（岡山県自然保護センター）

#### S3 国指定天然記念物鯉ヶ窪湿原の保護保全マニュアル（9：45～10：05）

波田善夫（岡山理科大学総合情報学部生物地球システム学科）

### 総合討論（10：05～10：20）

講演プログラム

口頭発表 10月7日(日曜日)午前 A(4階)・B(3階)会場

時間	A会場(4階)	B会場(3階)
9:00	特別セッション 趣旨説明	(講演用プレゼン動作確認)
9:05	S1 岡山県の湿地に移入された外来食虫植物の現状 片岡博行(津黒いきものふれあいの里)	
9:25	S2 植生構造を破壊して移植した湿原の移植後の植生変遷 西本孝(岡山県自然保護センター)	
9:45	S3 国指定天然記念物鯉ヶ窪湿原の保護保全マニュアル 波田善夫(岡山理科大学総合情報学部生物地球システム学科)	
10:05	総合討論	
10:20	A1 日本の半陰地1年草群落について(続報) 村上 雄秀(国際生態学センター)	B1 長野県のブナ造林木に認められた晩霜害 小山泰弘(長野県林業総合センター)
10:40	A2 八幡平におけるオオシラビソ林の分布パターン-亜高山性針葉樹林の占有度合が異なる地域間の比較- 若松伸彦(東京農大・地域環境)・菊池多賀夫・大野啓一(横浜国大・院・環境情報)	B2 風倒木着生個体から推定したカヤランの個体群動態  松村俊和(兵庫県・洲本農林水産振興事務所)
11:00	A3 韓国のケヤキ林およびヤチダモ溪畔林の群落体系 大野啓一(横浜国立大学大学院・環境情報研究院)・宋鍾碩(韓国安東大学)	B3 水稲用除草剤が絶滅危惧植物に及ぼす影響の日韓比較 池田浩明・相田美喜・林 成振(農業環境技術研究所)
11:20	A4 東日本におけるイヌブナの分布とこれを規定する環境要因について 原正利(千葉県立中央博物館)	B4 マングローブ林の立地における葉層の役割と林床の土砂移動 齋藤綾子(東北学院大・院)・宮城豊彦(東北学院)・V.N.NAM(Faculty of Forestry Nong Lam Univ.)・H.D.HOAN・C.H.BINH and P.V.TRUNG(Can Gio Mangrove Protection Forest Management Board)
11:40	A5 大隅半島稲尾岳におけるシイ類の垂直分布について 小林悟志(新領域融合研究センター)	B5 マングローブ林の津波減衰効果に関する定量的な評価例 2004年インド洋大津波の調査を総括して 宮城豊彦(東北学院大)・柳沢英明(東北学院大)・馬場繁幸(琉大・ISME)・今村文彦(東北大)・C.Tanavud(Prince of Songkla Univ., Thailand)・M.Affar(Shakuala Univ., Indonesia)
12:00	昼食休憩(12:00-13:00)	

講演プログラム

口頭発表 10月7日(日曜日)午後 A(4階)・B(3階)会場

時間	A会場(4階)	B会場(3階)
12:00	昼食休憩(12:00-13:00)	
13:00	ポスター発表コアタイム(13:00-15:00) 5階ポスター会場	
15:00		
	(講演用プレゼン動作確認)	(講演用プレゼン動作確認)
14:40	エクスカージョン説明会	
15:00	A6 箕面山の森林植生 - 25年間の組成変化 山崎俊哉(大阪市立自然史博物館)・丸井英幹・梅原徹	B6 大出水は大攪乱か - カワラハハコ群落存続の可否を流れから解く - 浅見佳世 ((株)里と水辺研究所)
15:20	A7 超閉鎖性湾・大村湾(長崎県)の沿岸と島嶼部の植物相と植生 中西弘樹(長崎大教育)・小林業(長崎大教育)・中西こずえ(長崎大・環境科学)	B7 茨城県小貝川におけるアレチウリ発芽サイトの解明 川田清和・池田浩明(農業環境技術研究所)
15:40	A8 中国黄土高原の小流域における植生の空間構造 永松 大(鳥取大・地域)・山中 典和(鳥取大・乾地研)・杜盛(中国科学院)・侯慶春(中国科学院)・張文輝(西北農林科技大・中国)	B8 標津川蛇行復元予定区域の植物相・植生の現状と復元時に必要な対策 堀端純平(北大大学院・農・植物生態・体系学)・富士田裕子(北方生物圏フィールド科学センター植物園)・三木昇((株)エコニクス)・東隆行(北方生物圏フィールド科学センター植物園)・藤田玲(草花堂)
16:00	A9 オブジェクト指向分類による植生界抽出と図化精度の評価 鎌形 哲稔・原 慶太郎(東京情報大・院・総合情報)	B9 都市域の里山孤立林に侵入した緑化・園芸樹木の種組成と種多様性 石田弘明(兵庫県立大学自然・環境科学研究所)・戸井可名子・武田義明・服部保
16:20	A10 万葉集の植生学的研究 服部 保(兵庫県立大学 自然・環境科学研究所)・橋本佳延(兵庫県立人と自然の博物館)・南山典子(兵庫県立人と自然の博物館)	B10 南部アフリカレソト周辺の生態地理景 沖津進(千葉大園芸学研究科)
16:40	(口頭発表終了)	(口頭発表終了)
16:50	総会・学会賞授与式	
17:50	総会終了	
	(懇親会会場へ移動)	
18:00	懇親会 岡山理科大学 11号館8階ラウンジ	
20:00	終了	

講演プログラム

ポスター発表 10月7日(日曜日)午前・午後 ポスター会場1(5階22554教室)

ポスター発表コアタイム 13:00~15:00

(ポスター会場は9:00~16:40まで開いています)

<p>P1 講演取り消し</p> <p>-</p>	<p>P7 岡山県前島の植生 - 地形属性と植生の関係 - 松岡憲吾1,財津一行2,太田謙3,波田善夫2(1岡山理科大学院・総情・生地,2岡山理科大学・総情・生地,3岡山理科大学院・総情・環境)</p>
<p>P2 北アルプス八方尾根の蛇紋岩地域における微地形による土壌-植生系の変化 松江大輔(東農大・院)・武生雅明・中村幸人(東農大・地球環境)</p>	<p>P8 岐阜市近郊のコナラ二次林における植生管理と下層植生の関連について 肥後睦輝・寺本匡寛(岐阜大・地域)</p>
<p>P3 南アルプス仙水峠の岩塊地に分布する植物群落とその立地環境 池田史枝・大野啓一(横浜国立大・院・環境情報)</p>	<p>P9 兵庫県慶野松原における人間活動と植生の関係 三浦弘之(兵庫県立淡路景観園芸学校)・藤原道郎・澤田佳宏・大藪崇司・山本聡・美濃伸之・一ノ瀬友博(兵庫県立淡路景観園芸学校,兵庫県立大学 自然・環境科学研究所)</p>
<p>P4 八ヶ岳演習林内の湿地林における植生分布と地下水位 菊地 亜矢子・上條 隆志・清野 達之・中村 徹(筑波大・生命環境)</p>	<p>P10 微地形条件の異なる植栽林下層におけるシダ植物の種数および株数比較 黒田有寿茂(兵庫県立大学 自然・環境科学研究所,兵庫県立人と自然の博物館)・澤田佳宏(兵庫県立大学 自然・環境科学研究所,淡路景観園芸学校)・服部 保(兵庫県立大学 自然・環境科学研究所,兵庫県立人と自然の博物館)</p>
<p>P5 都市域と郊外域における孤立した照葉樹林の約30年間に於ける種数・種組成の変化 窪山 恵美・藤原一繪 (横浜国立大・院・環境情報)</p>	<p>P11 二次林における当年生コナラ芽生えの生残 ○中田将人(岡山理科大学院)・波田善夫(岡山理科大学)</p>
<p>P6 伊豆諸島御蔵島におけるスタジイ巨樹の着生植物の種多様性 仲山真希子(筑波大・院・環境科学)・上條隆志(筑波大・生命環境)・平田晶子(筑波大・院・生命環境)</p>	<p>P12 山梨県甘利山におけるレンゲツツジ <i>Rhododendron japonicum</i> の開花と萌芽の生残に及ぼす要因 久保満佐子・長池卓男(山梨県森林総合研究所)</p>

講演プログラム

ポスター発表 10月7日(日曜日)午前・午後 ポスター会場2(5階22555教室)

<p>P13 養分ターンオーバーは降雨涵養湿原の植生分布を説明できるか? 酒井絢也(北大院・環境科学院)・上村滋(北大フィールド科学センター)・矢部和夫(札幌私大・デザイン)</p>	<p>P20 放棄草地における種構成のスケール依存的動態と空間解析 安田泰輔・中野隆志・北原正彦・杉田幹夫(山梨県環境科学研究所)</p>
<p>P14 高知県大岐浜林の植生変遷 森定 伸・野崎達也・小川みどり((株)ウエスコ)</p>	<p>P21 モンゴル半乾燥草原における放牧停止が植生の構造に与える影響 浦野忠朗(筑波大・生命環境)・川田清和(農環研)・李勝功(筑波大・生命環境)・杉田倫明(筑波大・生命環境)・鞠子茂(筑波大・生命環境)</p>
<p>P15 静岡県遠州灘海岸におけるケカモノハシとピロードテンツキの分布に及ぼす堆砂の影響 岡浩平・吉崎真司・小堀洋美(武蔵工業大学大学院環境情報学研究科)</p>	<p>P22 三宅島2000年噴火後のオオシマカンスゲとハチジョウススキの増加様式 ○川越みなみ・上條隆志(筑波大・生命環境科学)</p>
<p>P16 木曽川下流域ケレップ水制群周辺における河床の複断面化と植生発達 比嘉基紀・師井茂倫・大野啓一(横浜国大・院・環境情報)</p>	<p>P23 侵入種の分布量を定める要因は何か? - トウネズミモチを例として - 伊藤千恵・藤原一繪(横浜国立大学・院・環境情報)</p>
<p>P17 多摩川河川敷における一年生草本植物群落の組成と配分 大和量(東京農大院・林学)・中村幸人(東京農大・地域環境科学)</p>	<p>P24 高知県の中山間地における帰化植物の生育立地 -いの町成山地区の事例- 兼田侑也(高知大・院・理)・松本健吾・石川慎吾・三宅尚(高知大・理)</p>
<p>P18 多摩川中流域の農業用水路における水生植物の分布と生育環境 鈴木晴美・吉川正人・星野義延(東京農工大学・農)</p>	<p>P25 カワウ生息地における植生景観の変遷 前迫ゆり(大阪産業大学人間環境学研究科)・金子有子(琵琶湖環境科学研究センター)</p>
<p>P19 茨城県菅生沼のオギ二次草原への火入れ影響 澤田みつ子(筑波大学大学院環境科学研究科)・小幡和男(茨城県自然博物館)・上條隆志(筑波大学環境科学研究科)・中村徹(筑波大学環境科学研究科)</p>	<p>P26 里山の森林群落とアリ類の関係 山尾僚<sup>1</sup>、西本孝<sup>2</sup>、波田善夫<sup>3</sup>(<sup>1</sup>岡山理科大院・総情・生地,<sup>2</sup>岡山県自然保護センター,<sup>3</sup>岡山理科大・総情・生地)</p>

ポスター発表コアタイムは13:00~15:00です。  
演者の方は、ぜひポスターの前に立ち、ご発表ください。

ポスター会場は9:00~16:40まで開いています。  
ポスターの貼り出しは9:00から可能です。ポスターの撤収は16:40までをお願いいたします。

E・Jグループ

# 株式会社 エイトコンサルタント

ISO9001認証登録



**価値ある環境を未来に！**

『自然を知り、大地を活かす』  
総合建設コンサルタント

＜環境部門、主要な業務内容＞

- 環境アセスメント
- 自然環境・生活環境調査及び解析
- シミュレーション解析(潮流・水質等)
- パンフレット・リーフレット作成
- 環境教育 等

本社 河川・環境部 環境部門

〒700-8617 岡山市津島京町3丁目1番21号

TEL(086)252-8917(代), FAX(086)252-7509

(086)252-8946(ダイヤルイン), FAX(086)252-7591(ダイヤルイン)

ホームページアドレス <http://www.8con.co.jp>

ウエスコはあらゆる環境問題に取り組んでいます。



「未来に残す自然との共生社会」

総合建設コンサルタント

株式会社 **ウエスコ**

〒700-0033 岡山市島田本町 2-5-35

TEL : 086-254-2111 (代表)

FAX : 086-253-2098

HP : <http://www.wesco.co.jp/>

タンチョウの舞う、森と水辺の桃源郷  
そこで育まれた豊かな動植物たち  
約100haの自然に囲まれた世界に  
トップリと浸ってみませんか？

# 岡山県自然保護センター

指定管理者

財団法人 岡山県環境保全事業団

岡山県和気郡和気町田賀730 〒709-0524

TEL (0869) 88-1190

FAX (0869) 88-1195

URL: [homepage3.nifty.com/OPNACC/index.home](http://homepage3.nifty.com/OPNACC/index.home)

岡山理科大学総合情報学部

## 生物地球システム学科

**生物学**

DNA から  
生態系まで

**地球科学**

足もとから  
宇宙まで

**考古学**

過去から  
未来へ

**動物学科ができます！**



URL : <http://www.ous.ac.jp/zoo/index.html>



URL : <http://www.big.ous.ac.jp/>

植生学会  
学会長

菊池 多賀夫

植生学会 第12回大会実行委員会  
大会実行委員長

波田 善夫

植生学会 第12回大会講演要旨集

2007年10月7日 発行

編集・発行

植生学会第12回大会実行委員会

〒700-0005

岡山県岡山市理大町 1- 1

岡山理科大学 総合情報学部 生物地球システム学科内

Tel & Fax: 086-256-9646

印刷・製本

富士印刷株式会社

〒702-8002

本社・工場 岡山市桑野 516-3

Tel. 086-276-1331(代) Fax. 086-276-0658